

	鳥取大学 保健系分野 (看護学・医療技術学、学際・特定)
学部・研究科名	医学部保健学科看護学専攻 (第1年次: 80名、第3年次: 10名) 検査技術科学専攻 (第1年次: 40名、第3年次: 5名) 医学系研究科保健学専攻 (M: 14名、D: 4名) 臨床心理学専攻 (M: 6名)
沿革・設置目的	鳥取大学医学部附属看護学校、附属衛生検査技師学校を経て鳥取大学医療技術短期大学部が設置された後、平成11年、看護学及び臨床検査医学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。 昭和24年 (1949年) 鳥取大学設置と同時に医学部設置 昭和26年 (1951年) 医学部附属看護学校設置 昭和42年 (1967年) 医学部附属衛生検査技師学校設置 昭和50年 (1975年) 鳥取大学医療技術短期大学部設置 平成11年 (1999年) 医学部保健学科設置 平成16年 (2004年) 国立大学法人に移行 平成16年 (2004年) 大学院医学系研究科保健学専攻 (修士課程) 設置 (平成20年 (2008年) に博士課程後期を設置) 平成21年 (2009年) 大学院医学系研究科臨床心理学専攻 (修士課程) 設置
強みや特色などの役割	○ 鳥取大学の理念等に基づき、他者とのコミュニケーション能力を有し、不安を抱える患者への理解やいたわりの心を持った全人的医療人、臨床実践力を有し、多職種連携によるチーム医療のなかで中心的役割を果たすことができる人材を養成する。 ○ 大学院保健学専攻では、高度な医療技術を持つ専門職業人としての医療現場のリーダーを育成するとともに、看護学と医用検査学を融合させて「心と科学の統合」を目標とする保健学の教育・研究者を育成する。 ○ 大学院臨床心理学専攻では、医学系研究科に設置された臨床心理士養成コースであることを活かし、附属病院や地域医療機関との連携のもと、優れた臨床心理士を養成し国民の心の健康に寄与する。

- 高齢化に伴う高齢者の心身の機能低下、認知症患者の増加、がん患者の増加に対応したリハビリテーション看護学の発展等患者支援・医療技術の研究開発や、医療の高度化に対応した専門的な人材養成、地域医療職への現任教育、キャリア形成支援を積極的に推進する。